

非核の政府を求める石川の会第26回総会記念

非核・平和・沖縄のつどい

「やんばるの森 東村・高江のたたかい」



ヘリパッドいらない住民の会 清水暁氏

石川県金沢市生まれ。19才で上京、美術学校に入学。東京沖縄県人会のエイサー、三線会にまぜてもらって活動。2007年高江に移住、ベビーシッターの仕事をはじめ。移住して2か月後に米軍のヘリパッド建設工事が着工。座り込み活動に関わり現在に至る。

沖縄の豊かなやんばるの森に位置する東村高江の米軍北部訓練場では、6つのヘリパッド（ヘリコプターの着陸帯）の建設が進んでいます。高江のヘリパッド工事は、日米両政府が「世界一危険な基地」普天間基地の県内移転先として計画している辺野古の新基地建設の先取りであり、「世界一危険な軍用機」オスプレイの訓練も想定されています。

高江の住民たちは「静かな暮らしを守りたい」「子どもたちを守りたい」「豊かな自然を守りたい」「沖縄を守りたい」「そして、戦争はぜったいにイヤだ！」との願いから、2007年7月より毎日24時間体制で4ヶ所の北部訓練場入り口付近に座り込み、監視・抗議行動をつづけています。

いま高江で何が起きているのか、高江の思いを受け止め、沖縄の米軍基地をなくす運動を支援するため、石川県出身で現地で活動をしている清水暁氏に現地報告をお願いしました。

当日、DVD『やんばるからのメッセージ 高江の記録』（10分版）も上映します。

たくさんの皆さんの参加を呼びかけます。

・2014年6月1日（日）

13:30～15:00

・石川民医連会館3階会議室

（裏面に会場案内図あります）

*菜の花薬局駐車場をご利用ください

・参加費 500円

*講演終了後、第26回総会を行います。

主催 非核の政府を求める石川の会 連絡先 090-2374-6821（神田）

